

2学期始業式あいさつ

おはようございます。

今日から2学期がスタートします。一人一人が新たな目標と、「それをやるんだ」という決意を持って、登校してくれたと思います。

3年生は、いよいよ線路決定の時期がやってきました。就職希望の人は、2週間後に試験が始まります。推薦で進学しようとする人もあつという間に試験の時期が来ます。あと少しですが、しっかりと準備してください。センター試験や一般入試で進学する人は、今やるべきことを行ってください。あせりは禁物です。最後の最後まで、粘り抜いて、必ず志望校の合格を勝ち取ってください。

2年生は、すでにこの学校の中心であるという自覚を持って生活できていますか。部活動は、新チームでの活動になっています。上級生として部活動を引っ張っていく大変さが分かったのではないのでしょうか。暑いグラウンド、体育館、プール、また校舎の中での活動は大変だったと思います。この夏、いろいろな課題を抱えながらも、精一杯取り組んでくれました。これからの活動での活躍を大いに期待しています。

1年生は、高校生活に慣れてきたと思いますが、どうですか。入学当時の目標に変化はありますか。今、将来の目標は明確ですか。それに向かって努力していますか。上級生が頑張ろうとしているなら、一緒に頑張ってください。また「自分たち1年生が、高砂南の伝統をさらに良いものにするんだ」という気持ちで生活してください。

さて、今日は、「目標」と「感謝について、2つの話をします。

1つ目の話をします。1学期末の終業式で、「自分を成長させるために、毎日5つのことを実行する」という話をしましたが、取り組んでくれましたか。私も取り組みました。結果は、42日間のうち半分達成しましたが、残りの日は3つから4つで終わってしまい、自分の意志の弱さを再確認しました。

「体を鍛える」ということについて、朝学校に向かう車の中で、信号が赤になったら、アイソメトリックトレーニングを行う計画を立てました。これはほぼ毎日行うことができました。逆に、習字の練習や読書は、なかなか毎日続きませんでした。次の休憩になったらやろうとか、家に帰って時間がある時とか、土日の時間のある時にやろうとか心で決めていても、思った通りにはできませんでした。

この取組で感じたことは、「生活のリズムの一部になれば続けられる」ということです。生活のリズムの中に確立されれば、苦もなく、自然に取り組めるのです。皆さんは、家庭での生活のリズムはしっかり確立されていますか。学習時間や手伝いの時間は決めていますか。初めはつらいかもしれませんが、例えば「9時から2時間勉強する」と決めて生活してください。それが進路実現につながっていきます。

それから、できない一番の原因は、それをやる自分が自分にとって本当にプラスになると確信が持てなかったからのように思います。つまり、5つを達成するための単なる材料になってしまい、やらされているという感覚だったのかなと反省しています。皆さんも、自分の日々の生活やこれからの人生を、他の人から指図されたり、決められるとしたら、本気で取り組む気が起こら

ないのではないのでしょうか。しっかりとした正しい目標を持ち、自分の中で、どんなことがあっても揺るがない自覚、意志を持って生活して欲しいと思います。

2つ目の話は、感謝についてです。

今年の 24 時間テレビは、訳あって、ほとんど観ることができませんでしたが、ブルゾンちえみさんが、マラソンのゴールをする瞬間は観ることができました。陸上競技経験者といっても体重が増え、ブランクがあれば、90km は苦しいランニングになります。でもゴールしたあとの最初の言葉は、周りの人への感謝の言葉でした。ブルゾンちえみさんは全身の痛みを耐えながら走ったと思います。やめたいと思ったこともあるのではないのでしょうか。しかし、自分の頑張りよりも、支えてくれたコーチ、応援してくれた沿道の人への感謝の言葉を語っていました。全日本の大会やオリンピックなどの大きな大会で、勝っても負けても、選手が発する言葉は、やはり指導者、家族、応援してくださった人たちへの感謝の気持ちです。私は、そんな感謝の気持ちがある人が、望む結果に近づける資格があると思います。

学校での勉強、部活動、行事などにおいて、「困っている時は周りの人に助けられる。別の場面では周りの人を助ける。」、そんなお互いを支え合う気持ち、お互いを認め合う気持ち、感謝の気持ちがいっぱい集まるようになって欲しいと思います。日々の生活で不満に思うことがあるかもしれませんが、それよりももっと大切なものをつかむために努力することに目を向けて欲しいと思います。

いよいよ新学期が始まります。体育大会がすぐあります。またみんなの元気な姿を見るのがとても楽しみです。

2学期、皆さんが健康で、充実した生活を送ることを期待して、始業式のあいさつとします。